

お知らせ 武内医院の新型コロナウイルス感染症患者について

令和3年1月8日（金）山鹿市鹿央町の特別養護老人ホーム『あいさと』において新型コロナウイルス感染症クラスター発生と判明致しました。

入所者1名が当院人工透析治療に通院されており、施設内で濃厚接触とされ、1月6日（水）に行政検査を受け1月7日（木）夜「陽性」と判明しました。

直ちに、外来・透析の診療を「臨時休診」の上、関係部署の消毒を行いました。同時に、行政的に濃厚接触とはされませんでした。透析部門含め全職員PCR検査を独自の判断で行ないましたが、全員『陰性』でした。

陽性者と同日に透析を行う患者様のPCR検査も行い、全員『陰性』でした。

他の日に透析を行う患者様の検査を念のために実施したところ、4名陽性でした。いずれも無症状の壮年層の方で、透析ベッドは共有せず離れて、互いに接触も無く、送迎は利用せず自らの運転で来院されており、院内での感染は否定的です。年末に帰省の方と同居した方がおられるようで、保健所の疫学的調査の対象です。

陽性者について、直ちに山鹿保健所に連絡いたしました。

人工透析を行う基礎疾患を有す感染者は、原則的に感染症指定病院入院が必要です。

当院は、透析医療を行う有床診療所ですが、感染者受け入れは構造的にも困難で、感染症専門医や呼吸器内科医や看護職員も配置されておらず、陽性者の入院治療は困難である旨は保健所に通告しております。

地域の皆様方に多大なご心配をおかけして大変恐縮致しております。今後の経過につきましては適宜ご報告行ってまいります。

令和3年1月9日（土）
（医）春水会 武内医院
水足 久美子